

13 国語部会（小・中・高）		部会テーマ	「主体的・対話的で深い学び」を目指した 国語科授業		
内 容	新しい学習指導要領では、国語科における資質・能力の育成を目指して、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。そこで本部会では、小・中・高の実践研究発表を通して、国語科における「深い学び」及び小・中・高の学びのつながりを考える。				
指導助言者	宇都宮大学大学院	大場 賢治	企画・会場係	総合教育センター	武井 玲子
記 録 係	総合教育センター	塩野 友佳	機 器 係	総合教育センター	斎藤雄一郎
機 器 係	総合教育センター	高橋 徹	受 付 係	総合教育センター	永島 寿一

実践発表①

対話で文学的文章教材の読みを深める授業づくり

足利市立けやき小学校 植木 美穂

対話で文学教材の読みを深めるためには、「読みの観点を明確にする教材分析」「子どもが対話したくなる問いの精選」「論理的思考・表現力を高める三角ロジック」が効果的であると考え、実践を行った。その内容と成果・課題について発表する。

実践発表②

読む技術の習得を目指した系統化の試案

～指導する技能と学習用語の抽出を通して～

栃木市立大平南中学校 佐藤奈央子

子どもたちが文章を読む力を身に付けることのできる授業づくりのために、読むための技能、学習用語、系統性などの視点から、何を教えるかという指導事項の明確化を図ることを目的に行った研究、実践について発表する。

実践発表③

主体的な学びを促す「問い」の工夫

県立真岡高等学校 小林 巧

本文全体に関わる問いを設定することによって、生徒が主体的に評論文の読解に取り組むことをねらった実践について発表する。本実践は、総合教育センター「高等学校における教科指導充実に関する調査研究」の一環として行ったものである。

指導助言

宇都宮大学大学院教育学研究科 大場 賢治